



代表取締役 大西 友子さん

旅というひとつの目標を楽しみにしているお年寄りはいくつとありません。最近では世の中の意識も変わってきて、障がいをお持ちの方が旅を楽しむ機会も増えてきました。すべての場所にバリアフリーを望むのは難しくても、例えば車いすでも利用できるトイレを用意するなど、受け入れる側が「お手伝いしますよ」という意思を伝えてくれれば、気持ちの面でバリアが取り払われるのではないかと思います。高齢者や障がい者が遠方に旅行に出かけることは、たいへんな勇気と決断が必要です。ご家族はもちろん、日頃から介護に関わっている専門家、観光地や宿泊先でお世話になる人たち…。一人ひとりが少しずつ意識を変えていくことで、誰もが好きな場所へとお出かけできる幸せな社会を実現できるのではないのでしょうか。



思い出の場所へ
そっと寄り添う
感動の旅

こころを込めて 我が社のおもてなし

株式会社どこでも介護

代表者／大西 友子
住 所／大津市瀬田大江町横谷1-5 龍谷エクステンションセンター 317
京都市下京区中堂寺南町134 (公財)京都高度技術研究所 8E03
TEL / 077-543-3640
URL / <http://www.dokodemo-kaigo.com/>

「若い頃は、いろんな所に旅行したもんやけど…」リハビリ介助の最中、ふと呟いた高齢者の言葉に、長年、理学療法士として福祉現場で働いていた大西さんは心を動かされたそうです。「いくつになっても、誰もがお出かけを楽しめる社会って幸せだと思いませんか?」。そんな思いから、高齢者・障がい者向けの旅行介護サービスを始めました。

例えば、服はこれを着て、化粧品はこれを使って…というように、自分のライフスタイルにこだわりを持っている高齢者や障がい者も少なくありません。大西さんは、事前にご本人やそのご家族と面談し、行き先だけでなく、趣味や嗜好などその人の日常生活の様子を詳しくヒヤリングして、一人ひとりに合った旅のプランを立てていきます。「気負わず、焦らず、普段と同じ感覚で、安全・安心な旅を楽しんでいただくことが私たちの仕事」と話します。

今年のシルバーウィークには、84歳の女性に寄り添って鹿児島まで行ってきました。新幹線やレンタカーを利用しての長旅でしたが、かつてご主人と過ごした懐かしい場所を訪れることができ、「長い間の夢を叶えることができました!」とたいへん喜んでいただけそうです。

「旅はリハビリ!」と大西さん。思い出のあの故郷へ、大好きなあの場所へ…。素敵な笑顔とともに、靴ひもを結んで、さあ出かけましょう。